

2020年（令和2年）基準

鹿児島県鉱工業指数の基準改定の概要

令和7年4月

鹿児島県総合政策部統計課

1 改定の趣旨

鹿児島県では鉱工業の動向を総合的に把握することを目的として、毎月、鹿児島県鉱工業指数を作成し、公表している。

鉱工業指数については、「指数の基準時に関する統計基準(平成22年3月31日総務省告示第112号)」において「指数の基準時は、5年ごとに更新することとし、西暦年数の末尾が0又は5である年とする。」とされていることから、現行の基準時である2015年(平成27年)から5年後の2020年(令和2年)を新たな基準時とし、ウェイトや採用品目の見直しを行った。

2 主な内容

(1) 基準時及びウェイト算定年次の変更

指数の基準時及びウェイト算定年次を、2015年(平成27年)から2020年(令和2年)へ変更した。指数値は、2020年(令和2年)の平均を100.0とした比率で示される。

(2) 業種分類

2020年(令和2年)基準の業種分類は、原則として日本標準産業分類(令和5年7月27日総務省告示第256号)に準拠し、14業種を採用している。

なお、2015年(平成27年)基準(旧基準)と同一の業種分類である。

※詳細は資料1のとおり

※今回から「鉱工業(長期生産物を除く)」の指数は公表しない。

(3) 採用品目の見直し

採用品目の選定については、主に経済産業省生産動態統計調査から、業種内の代表性等に関し検討するとともに、経済センサスー活動調査等から、県独自調査(鹿児島県鉱工業動態統計調査)等について、採用の可否や品目の統合等について検討した。

採用品目数：109品目(うち、在庫採用品目数：55品目)

※詳細は資料2のとおり

【採用品目の改廃状況】

○新 規：なし

○廃 止：7品目

〔半導体・FPD製造装置、真空ポンプ、電気機械器具、
混成集積回路、自動車車体、靴下、精密機械部品〕

○統 合：1品目

〔アルミニウム製建具とスチール・ステンセス製建具を
金属製建具として統合〕

○名 称 変 更：なし

○単 位 変 更：なし

○財分類変更：2品目

〔プリンター部品：その他用生産財→鉱工業用生産財
砕石：鉱工業用生産財→建設財〕

(4) ウェイトの見直し

基準年の鉱工業全体を10000.0とする金額の構成比で表すウェイトは、経済センサスー活動調査、経済産業省生産動態統計調査等を基礎データとして、指数の分類・概念に適合するよう組替えを行った上で算定した。

※詳細は資料3のとおり

【主なウェイトの変化状況】

生産指数（付加価値額ウェイト）

○上昇業種：電子部品・デバイス工業 1278.5 → 1643.1(+364.6)

○低下業種：電気・情報通信機械工業 807.2 → 459.8(▲347.4)

(5) 季節調整法

季節調整法は、2015年（平成27年）基準に引き続き、米国センサス局のX-12-ARIMAを採用する。（ARIMAモデルは、(0 1 1)(0 1 1)）

季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されており、以下のように算出される。

○季節調整済指数＝原指数÷（季節・曜日・祝祭日・うるう年指数）

3 新旧基準との接続

2020年（令和2年）基準による指数値へは、2025（令和7年）2月分から切り替える。

過去系列については、2018年（平成30年）1月以降について、新基準による系列を作成した。

また、2017年（平成29年）以前の過去の時系列については、便宜的に下記の式により算出した接続指数を用いて接続することができる。

○接続指数 ＝ 2015年（平成27年）基準の指数×接続係数

○接続係数
$$= \frac{\text{2020年（令和2年）基準の平成30年1～3月の平均指数}}{\text{2015年（平成27年）基準の平成30年1～3月の平均指数}}$$

＜業種分類の新旧比較＞

【2015年基準】 14業種	旧基準における業種分類と同一	【2020年基準】 14業種	【日本標準産業分類との比較】
鉱工業 製造工業 ●非鉄金属・金属製品工業 ●汎用・生産用機械工業 ●電気・情報通信機械工業 ●電子部品・デバイス工業 ●輸送機械工業 ●窯業・土石製品工業 ●化学工業 ●プラスチック製品工業 ●パルプ・紙・紙加工品工業 ●繊維工業 ●木材・木製品工業 ●食料品工業 ●その他工業(印刷・石油・その他) ●鉱業		鉱工業 製造工業 ●非鉄金属・金属製品工業 ●汎用・生産用機械工業 ●電気・情報通信機械工業 ●電子部品・デバイス工業 ●輸送機械工業 ●窯業・土石製品工業 ●化学工業 ●プラスチック製品工業 ●パルプ・紙・紙加工品工業 ●繊維工業 ●木材・木製品工業 ●食料品工業 ●その他工業(印刷・石油・その他) ●鉱業	…・非鉄金属製造業 …・金属製品製造業 …・はん用機械器具製造業 …・生産用機械器具製造業 …・電気機械器具製造業 …・情報通信機械器具製造業 …・電子部品・デバイス・電子回路製造業 …・輸送用機械器具製造業 …・窯業・土石製品製造業 …・化学工業 …・プラスチック製品製造業(別掲を除く) …・パルプ・紙・紙加工品製造業 …・繊維工業 …・木材・木製品製造業(家具を除く) …・食料品製造業 …・飲料・たばこ・飼料製造業 …・印刷・同関連業 …・石油製品・石炭製品製造業 …・その他の製造業 …・鉱業

※非採用

・鉄鋼業
 ・業務用機械器具製造業
 ・家具・装備品製造業
 ・ゴム製品製造業
 ・なめし革・同製品・毛皮製造業

＜特殊分類の概念及び定義について＞

分 類	定 義
最終需要財	鉱工業または他の産業に原材料等として投入されない製品。 ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計。
資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高いもの。
建設財	建設工事用の資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品及び土木工事の資材。
消費財	家計で購入される製品（耐久消費財と非耐久消費財の合計）。
耐久消費財	原則として想定耐用年数1年以上で、比較的購入単価が高いもの。
非耐久消費財	原則として想定耐用年数1年未満又は比較的購入単価が低いもの。
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品。ただし、企業消費財を含み、建設財を除く。
鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に、原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。
その他用生産財	非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財。

2020年(令和2年)基準採用品目一覧

業種名・採用品目名		採用単位	財別格付	参考系列	備考
非鉄金属・金属製品工業(13品目)					
1	金地金	g	鉱工業用生産財	非鉄金属工業	
2	銀地金	kg	鉱工業用生産財		
3	高純度アルミ	kg	鉱工業用生産財		
4	金再生地金	g	鉱工業用生産財		
5	銀再生地金	kg	鉱工業用生産財		
6	白金再生地金	g	鉱工業用生産財		
7	銅・銅合金鑄物	kg	鉱工業用生産財		
8	18リットル缶	t	鉱工業用生産財	金属製品工業	
9	非鉄金属製管継手	kg	建設財		
10	鉄骨	t	建設財		
11	鉄製金網	千円	建設財		
12	金属製建具	t	建設財		統合
13	超硬サーメットチップ	kg	鉱工業用生産財		
汎用・生産用機械工業(5品目)					
14	特殊鋼切削工具	個	鉱工業用生産財		
15	超硬工具	個	鉱工業用生産財		
16	給排水栓類	kg	鉱工業用生産財		
17	プレス用金型	kg	資本財		
18	個装・内装機械	百万円	資本財		
電気・情報通信機械工業(3品目)					
19	電気照明器具(除、自動車)	個	耐久消費財		
20	情報機器	個	耐久消費財		
21	プリンター部品	個	鉱工業用生産財		財別分類 変更
電子部品・デバイス工業(6品目)					
22	光電変換素子	千個	鉱工業用生産財		
23	半導体集積回路	千個	鉱工業用生産財		
24	モス型IC(CCD)	百万円	鉱工業用生産財		
25	固定コンデンサ	千個	鉱工業用生産財		
26	コネクター	百万円	鉱工業用生産財		
27	電子回路実装基板	百万円	鉱工業用生産財		
輸送機械工業(5品目)					
28	点火栓	千個	鉱工業用生産財		
29	ワイヤーハーネス	千円	鉱工業用生産財		
30	自動車部品(エンジン部分)	万個	鉱工業用生産財		
31	自動車用電装部品	個	鉱工業用生産財		
32	船舶	G/t	資本財		
窯業・土石製品工業(10品目)					
33	生コンクリート	m ³	建設財		
34	遠心用鉄筋コンクリート製品	t	建設財		
35	護岸用コンクリートブロック	t	建設財		
36	道路用コンクリート製品	t	建設財		
37	ファインセラミックス(パッケージ)	千個	鉱工業用生産財		
38	ファインセラミックス(基板)	千個	鉱工業用生産財		
39	ファインセラミックス(圧電機能素子)	千個	鉱工業用生産財		
40	ファインセラミックス(構造材)	千個	鉱工業用生産財		
41	炭化けい素	t	鉱工業用生産財		
42	碎石	t	建設財		財別分類 変更
化学工業(6品目)					
43	配合肥料	t	その他用生産財		
44	窒素	千m ³	鉱工業用生産財		
45	発酵エチルアルコール	kℓ	鉱工業用生産財		
46	くえん酸	t	鉱工業用生産財		
47	殺虫剤	t	その他用生産財		
48	その他の化学製品	t	その他用生産財		
プラスチック製品工業(3品目)					
49	プラスチック製フィルム	t	鉱工業用生産財		
50	プラスチック製電気通信用部品	t	鉱工業用生産財		
51	プラスチック製容器	t	鉱工業用生産財		

※参考系列の「非鉄金属工業」「金属製品工業」の指数値は統計表に掲載。(出荷指数のみ)

※参考系列の「畜産加工物」「水産加工物」「農産加工物」の指数値は統計表に掲載。(生産指数のみ)

業種名・採用品目名		採用単位	財別格付	参考系列	備考
パルプ・紙・紙加工品工業(6品目)					
52	製紙パルプ	t	鉱工業用生産財		
53	印刷用紙(非塗工類)	t	鉱工業用生産財		
54	印刷用紙(塗工類)	t	鉱工業用生産財		
55	包装用紙	t	鉱工業用生産財		
56	工業用雑種紙	t	鉱工業用生産財		
57	段ボールシート	千m ²	鉱工業用生産財		
繊維工業(5品目)					
58	絹織物	反	耐久消費財		
59	ニット製外衣	千点	非耐久消費財		
60	織物製外衣	千点	非耐久消費財		
61	下着・補正着	千点	非耐久消費財		
62	その他繊維	kg	非耐久消費財		
木材・木製品工業(4品目)					
63	製材品	千m ³	建設財		
64	木材チップ	BDT	その他用生産財		
65	構造用集成材	m ³	建設財		
66	住宅建築用木製組立材料	m ³	建設財		
食料品工業(36品目)					
67	豚枝肉	t	鉱工業用生産財	畜産加工物	
68	和牛枝肉	t	鉱工業用生産財		
69	ブロイラー	t	鉱工業用生産財		
70	ハム	t	非耐久消費財		
71	ソーセージ	t	非耐久消費財		
72	ベーコン	t	非耐久消費財		
73	その他の肉製品	kg	非耐久消費財		
74	練乳	t	鉱工業用生産財	水産加工物	
75	牛乳	kℓ	非耐久消費財		
76	乳飲料	kℓ	非耐久消費財		
77	冷凍調理食品(畜産)	t	非耐久消費財		
78	水産練製品	t	非耐久消費財		
79	その他水産食料品	t	非耐久消費財		
80	かつお節	t	非耐久消費財		
81	水産加工品(養殖)	t	非耐久消費財	農産加工物	
82	冷凍調理食品(水産)	kg	非耐久消費財		
83	野菜漬物	t	非耐久消費財		
84	でん粉	t	鉱工業用生産財		
85	焼酎	kℓ	非耐久消費財		
86	スナック菓子1	t	非耐久消費財		
87	スナック菓子2	t	非耐久消費財		
88	みそ	t	非耐久消費財		
89	しょうゆ	t	非耐久消費財		
90	ぶどう糖	t	鉱工業用生産財		
91	水あめ	t	鉱工業用生産財		
92	異性化糖	t	鉱工業用生産財		
93	精麦	t	鉱工業用生産財		
94	生菓子	t	非耐久消費財		
95	食パン	小麦粉t	非耐久消費財		
96	菓子パン	小麦粉t	非耐久消費財		
97	麺	小麦粉t	非耐久消費財		
98	食用油脂	t	鉱工業用生産財		
99	冷凍調理食品(総菜)	t	非耐久消費財		
100	弁当	個	非耐久消費財		
101	ミネラルウォーター	kℓ	非耐久消費財		
102	配合飼料	t	その他用生産財		
その他工業(印刷・石油・その他)(5品目)					
103	オフセット印刷	千円	その他用生産財		
104	アスファルト合材	t	建設財		
105	アスファルト乳剤	t	建設財		
106	水性ボールペン	千本	非耐久消費財		
107	マーキングペン	千本	非耐久消費財		
鉱業(2品目)					
108	金鉱	含有量g	鉱工業用生産財		
109	銀鉱	含有量kg	鉱工業用生産財		

(うち在庫採用品目は55品目)

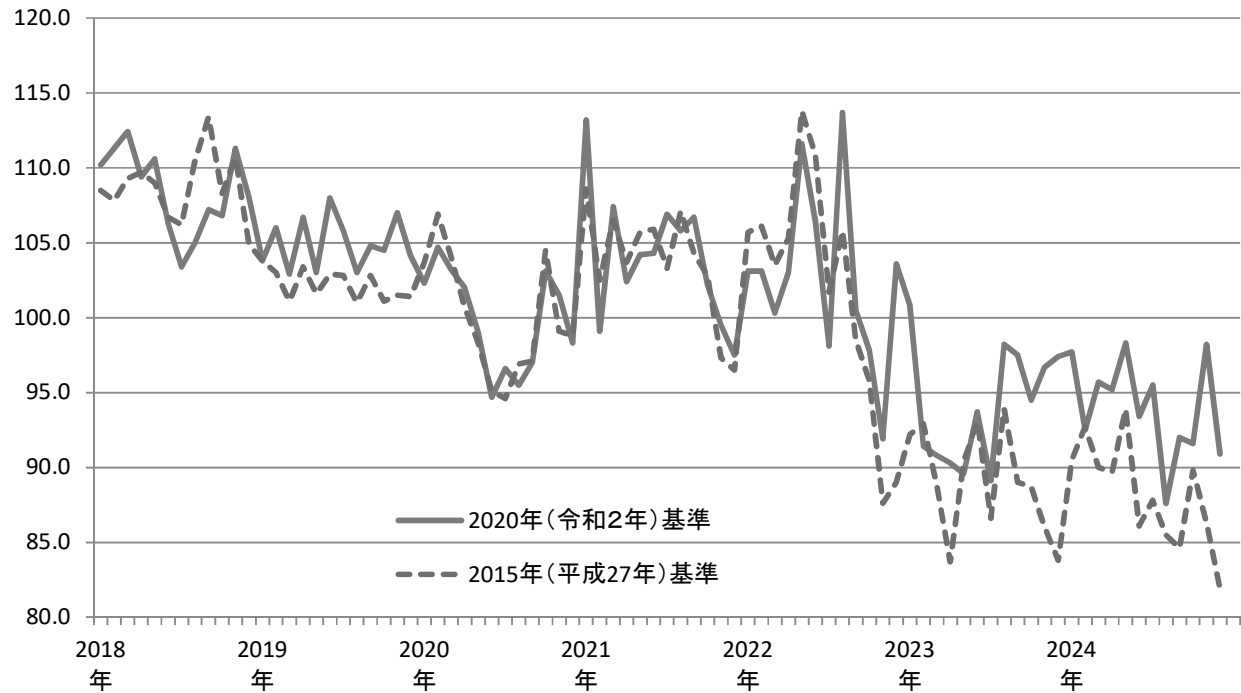
＜ウェイト新旧比較 業種分類別・特殊分類別＞

区 分		生産(付加価値額ウェイト)			出荷(出荷額ウェイト)			在庫(在庫額ウェイト)		
		2015年 基準	2020年 基準	差	2015年 基準	2020年 基準	差	2015年 基準	2020年 基準	差
業 種 分 類 別	鉱工業	10000.0	10,000.0	—	10000.0	10000.0	—	10000.0	10000.0	—
	製造工業	9960.0	9,945.5	▲14.5	9976.6	9968.7	▲7.9	9847.4	9867.8	20.4
	非鉄金属・金属製品工業	404.4	483.0	78.6	380.5	526.2	145.7	389.6	744.6	355.0
	汎用・生産用機械工業	554.8	595.8	41.0	422.1	374.8	▲47.3	X	—	—
	電気・情報通信機械工業	807.2	459.8	▲347.4	439.9	315.1	▲124.8	566.3	X	X
	電子部品・デバイス工業	1278.5	1,643.1	364.6	823.2	1060.6	237.4	X	X	X
	輸送機械工業	658.5	456.7	▲201.8	528.1	360.2	▲167.9	490.0	1804.3	1,314.3
	窯業・土石製品工業	1309.5	1,489.0	179.5	1062.3	1258.2	195.9	2535.3	1446.7	▲1,088.6
	化学工業	150.5	134.6	▲15.9	144.6	137.2	▲7.4	369.3	34.1	▲335.2
	プラスチック製品工業	117.9	103.4	▲14.5	79.7	83.4	3.7	214.8	120.5	▲94.3
	パルプ・紙・紙加工品工業	150.7	160.3	9.6	217.4	228.5	11.1	693.3	454.2	▲239.1
	繊維工業	125.2	93.8	▲31.4	88.3	70.4	▲17.9	169.3	18.5	▲150.8
	木材・木製品工業	141.1	147.9	6.8	97.8	107.5	9.7	109.4	135.8	26.4
	食料品工業	3921.1	3,941.3	20.2	5466.8	5267.1	▲199.7	3996.4	4340.0	343.6
	その他工業(印刷・石油・その他)	340.6	236.8	▲103.8	225.9	179.5	▲46.4	130.5	38.2	▲92.3
	鉱業	40.0	54.5	14.5	23.4	31.3	7.9	152.6	132.2	▲20.4
特 殊 分 類 別	最終需要財	3234.6	3,579.8	345.2	2953.4	2326.1	▲627.3	5010.4	5299.0	288.6
	投資財	895.3	1,043.0	147.7	707.7	709.8	2.1	1020.4	907.7	▲112.7
	資本財	317.0	322.4	5.4	274.2	165.2	▲109.0	X	X	X
	建設財	578.3	720.6	142.3	433.5	544.6	111.1	X	X	X
	消費財	2339.3	2,536.8	197.5	2245.7	1616.3	▲629.4	3990.0	4391.3	401.3
	耐久消費財	195.1	170.8	▲24.3	101.7	117.4	15.7	X	X	X
	非耐久消費財	2144.2	2,366.0	221.8	2144.0	1498.9	▲645.1	X	X	X
	生産財	6765.4	6,420.2	▲345.2	7046.6	7673.9	627.3	4989.6	4701.0	▲288.6
	鉱工業用生産財	5601.8	5,705.8	104.0	5608.0	6061.3	453.3	X	X	X
	その他用生産財	1163.6	714.4	▲449.2	1438.6	1612.6	174.0	X	X	X

※ Xは秘匿（各系列毎の事業所数が1または2の場合や前後の関係による。）

新旧基準指数の比較

鉱工業生産指数（季節調整済）



（注）比較のため、2015年(平成27年)基準指数は2020年(令和2年)＝100.0に換算している。



問合せ先

鹿児島県総合政策部統計課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号

TEL 099-286-2111(内2480)

099-286-2479(直通)

FAX 099-286-5535